Programming Boot Camp



東京工業大学 2023/11/3

Ryo Imahashi

目次

- ノーコード開発とは
- ノーコード開発のメリット、デメリット
- なぜノーコード開発をするのか
- ノーコード開発ツールにはどのようなものがあるか
- Programming Boot Campで扱うノーコード開発ツールの紹介

ノーコード開発とは

ノーコード開発とは、プログラミング言語でコードを書くことをせず にアプリやWebサービスの開発をすることです。

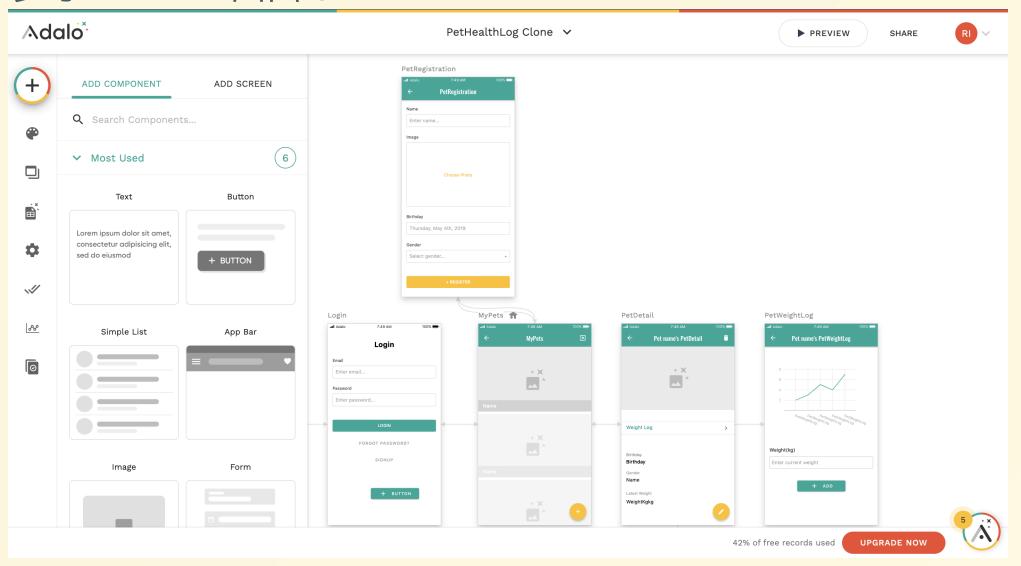
プログラミング言語でコードを書く従来のアプリ開発(スクラッチ開発)と比較して、ノーコード開発では、短時間でアプリを開発できる場合が多いです。

プログラミングの知識を持つエンジニアでなくても、ノーコード開発 であれば、アプリをつくることが可能になります。 ノーコード開発を行うためのツールは数多く提供されています。

それぞれに特徴は異なりますが、共通して、イメージ通りのアプリをコードを書かずに簡単に開発できるような工夫がされています。すでに完成したパーツをドラッグ&ドロップで組み合わせて画面をつくるようなツールも多く、直感的にアプリを開発できます。

また、多くのノーコード開発ツールでは、開発したアプリを実行する 環境も整っているため、修正した後はすぐに動作を確認して、トライ アンドエラーを素早く繰り返しながら、迅速に開発を進めることがで きます。

参考: Adaloの画面イメージ



ノーコード開発のメリット、デメリット

メリット

- プログラミングの知識が必要ない
- エンジニアに発注する費用がかからない
- アプリが速く開発できる

デメリット

- 複雑なことをやりたい時に、実現が難しい場合がある
 - シンプルな機能で簡単に開発できる反面、定型的なことしかできない場合が多く、コードを書いてアプリを作る場合と比べて、実現できることが限られます。(複数のツールを組み合わせたりすることで、解決できる場合もあります)
- 使用するノーコード開発ツールに依存することになる
 - 使用するツールによって、デザインや機能などに制約を持つことになります。またツールのサービスが終了すれば、開発したものが使用できなくなる恐れがあります。

なぜノーコード開発をするのか

- 期間やコストをかけずに実際にユーザーが操作することのできるプロトタイプを開発できるため、サービスのアイデアを素早く手軽に検証することができるから
- プログラミング言語でコードを書く従来のアプリ開発(スクラッチ開発)と比較して、行き詰まるポイントが少なく、楽しく開発できるから

ノーコード開発ツールにはどのようなものがあるか

先ほど「ノーコード開発を行うためのツールは数多く提供されています」と言いましたが、どのくらいあるかというと...

一般社団法人NoCoders Japan協会作成のノーコード・カオスマップには155個(多分)のツールが掲載されていました。



これだけたくさんのツールがあると、どれを選べば良いのか迷ってしまうと思います。選び方のポイントとして、ノーコード開発ツールによって作りやすいものが異なるため、「作りたいものが何か」から考えることをおすすめします。

作りたいものの例としては、以下のようなものが挙げられます。

- モバイルアプリ
- Webアプリ
- Webサイト
- ECサイト
- 業務効率化ツール

Programming Boot Campで扱うノーコード開発ツールの紹介

Programming Boot Campでは、2つのノーコード開発ツールを学んでいきます。

Adalo

使い方が分かりやすく、シンプルなモバイルアプリであれば簡単 に開発をすることができる

Bubble

○ できることが多いので色々なものが作れる反面、少し使い方が難しい

最初に分かりやすいAdaloでノーコードでのアプリ開発を体験し、次に、多機能なBubbleの使い方を学んでいきましょう。

それでは、1つ目のノーコード開発ツールであるAdaloのレクチャーに移ります。